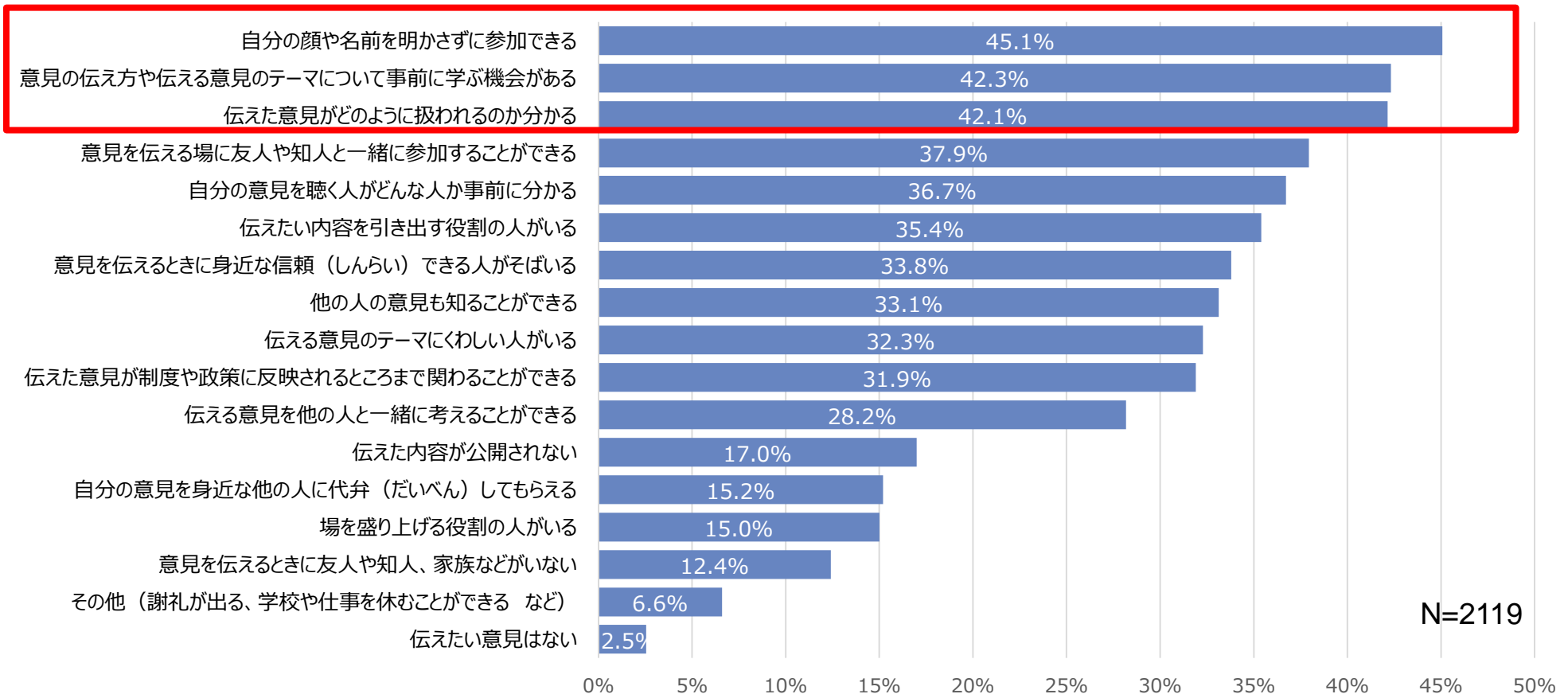


「こども・若者の意見」のまとめ：Webアンケート

国や自治体に対して意見を伝えやすくなるための工夫やルール

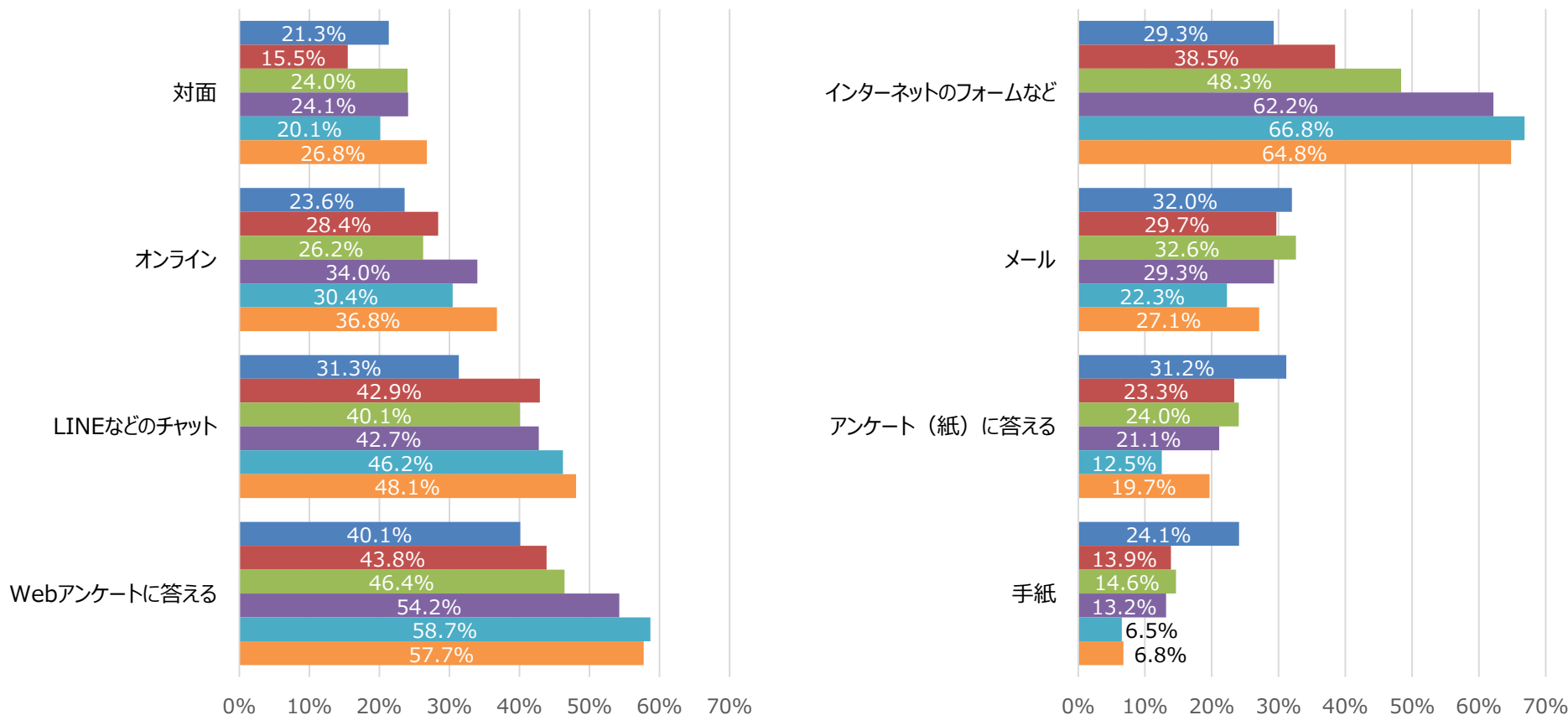
- 上位3つは、「自分の顔や名前を明かさずに参加できる」（匿名性）、「意見の伝え方や伝える意見のテーマについて事前に学ぶ機会がある」（事前の情報提供）、「伝えた意見がどのように扱われるのか分かる」（反映方法）



「こども・若者の意見」のまとめ：Webアンケート

国や自治体に対して意見を伝えやすい方法（年代別）

- 「対面」「オンライン」「LINEなどのチャット」「Webアンケートに答える」「インターネットのフォームなど」の回答割合は、年代が高いほど大きくなる傾向があり、「メール」「アンケート（紙）に答える」「手紙」の割合は、年代が低いほど大きくなる傾向があった。

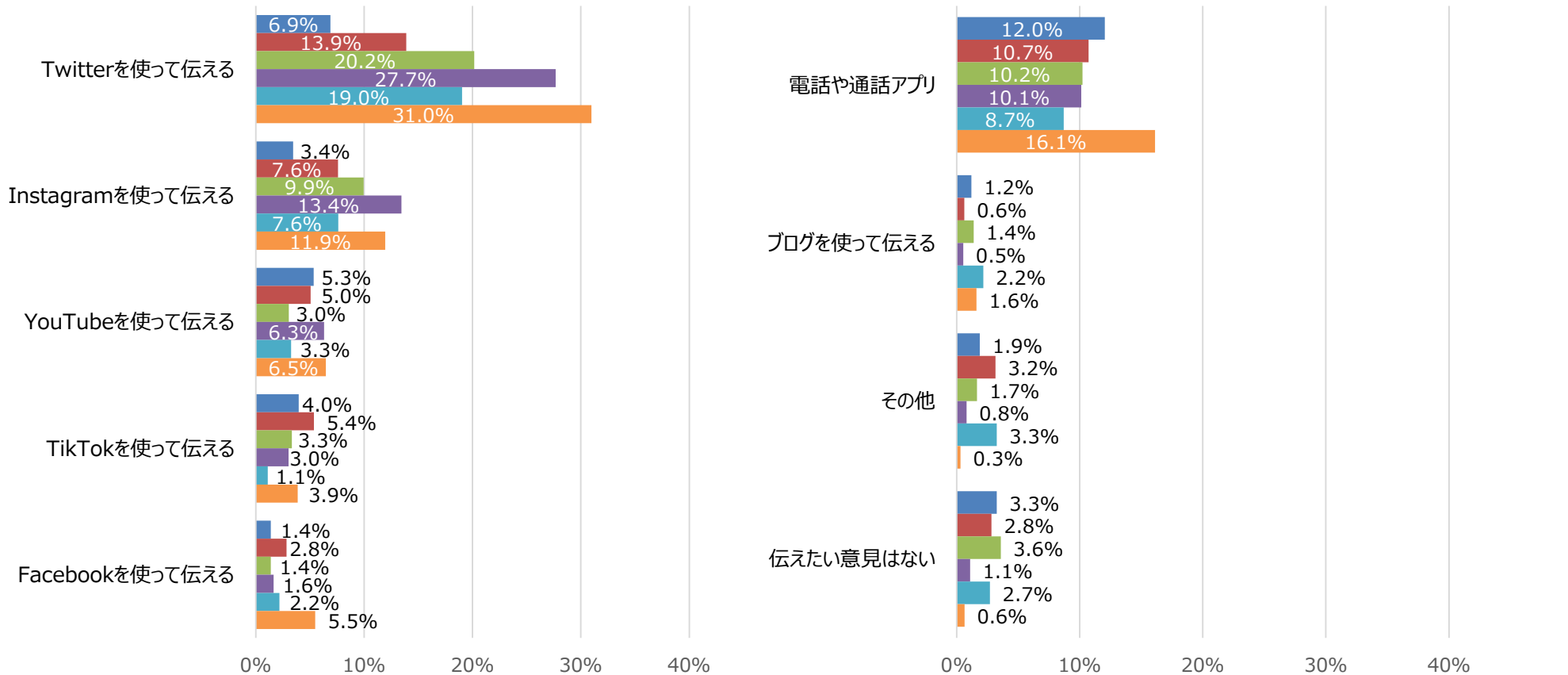


■ 小学生世代(N=581) ■ 中学生世代(N=317) ■ 高校生世代(N=362) ■ 19歳~22歳(N=365) ■ 23歳~25歳(N=184) ■ 26歳~29歳(N=310)

「こども・若者の意見」のまとめ：Webアンケート

国や自治体に対して意見を伝えやすい方法（年代別 続き）

- 「Twitter」「YouTube」「Facebook」は26～29歳が最多、「Instagram」では19歳～22歳が最多、「TikTok」では中学生世代が最多。「電話や通話アプリ」は26歳～29歳の割合が最多で、23歳～25歳の割合が最少である。



■ 小学生世代(N=581) ■ 中学生世代(N=317) ■ 高校生世代(N=362) ■ 19歳～22歳(N=365) ■ 23歳～25歳(N=184) ■ 26歳～29歳(N=310)